

# 高等学校第1学年ロングホームルーム学習指導案

日時 平成25年 月 日 ( )

指導者 情報科 教諭 有馬 千秋

## 1 題材名 SNSと個人情報

## 2 題材について

### (1) ねらいについて

情報化を続ける社会の中で、情報通信ネットワークに関する知識はすぐに古いものになってしまう。また、知識を持っていてもネットワークへの“慣れ”によって隙を作ってしまうと、様々なトラブルに巻き込まれる可能性がある。

そこで、常に情報を正しく把握し、様々な問題に主体的に対応できる力が必要となってくる。本単元では、SNSによって個人情報が漏洩する「影」の部分进行学习していく中で、隙を作らず望ましい情報社会を構築しようとする態度を育てていきたい。

そのためにも、生徒が自分のこととして捉えることができるよう、身近な例を挙げながら、考え、発表できる機会を設けていく。

### (2) 生徒の実態について

※ 省略

### (3) 指導にあたって

- 情報化によって起こりえる問題を適切に予測できるよう、発問を繰り返しながら考える機会をつくる。
- 情報通信ネットワークを利用したコミュニケーションに馴染みのない生徒にも理解しやすいよう、具体的な資料を掲示しながら説明する。

#### ICT活用のポイント

##### ①教師の活用

- ・ 本時の内容をプレゼンテーションで掲示し、確認する。
- ・ 例としてSNSの画面を掲示し、イメージをふくらませる。
- ・ なぜSNSから個人情報が漏れていくのか、個人情報保護への意識が変わっていく過程を疑似体験しながら考えていく。

## 3 単元の目標

SNSと個人情報について正しく理解し、主体的に問題を解決するために必要な知識や態度を育てる。

#### 4 指導計画及び評価の基準（1時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	関	思	技	知	評価基準・評価方法
1	SNSの特性を理解し、個人情報保護への意識を高めていく。 物事を多面的に捉え、起こりうる危険を想像する。	安直に「利用しない＝安全」という結論にならないよう発問に注意する。	○	○	○	○	多面的な視点で危険を予想できているか。（発問） 個人情報を正しく理解し、周囲に流されない態度が培われているか。（ワークシート）

#### 5 本時の展開

(1) 目標 SNSの特性を理解し、個人情報保護への意識を高めていく上で、物事を多面的に捉え、起こりうる危険を想像する力を身につける。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問(T) 予想される生徒の反応(C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT活用
導入 5分	1 本時の学習内容を確認する。 「SNSと個人情報」 (T)個人情報とは何でしょう。 (C)名前や住所、電話番号。個人を識別できる情報。	・本時のテーマをパワーポイントで掲示する。	プロジェクトで本時のテーマを掲示する。
	課題（めあて） 個人情報の在り方について考える。		
	2 インターネットでのコミュニケーションの種類について確認する。 (T)コミュニケーションにはどんなものがあるか。 (C)メール、掲示板、チャット、Facebook、mixi、LINEなど。	・日頃利用しているコミュニケーションの種類や形態について発問しながら確認する。	

<p>展開 40分</p>	<p>(T) SNSの意味について確認してみよう。</p> <p>3 SNSを例に個人情報について考える。</p> <p>(T)① SNSに登録された情報から予想される人物像を考えてみよう。</p> <p>(T)②登録された情報から、その人に起こる危険を挙げてみよう。</p> <p><b>SNSに登録された情報</b></p> <p>(1) 1日目…氏名、出身地、出身高校、生年月日</p> <p>(2) 5日目…性別、居住地、職歴、顔写真</p> <p>(3) 1ヶ月後…交際相手、今後の予定がわかる日記、自宅周辺の写真 ↓</p> <p>(C) ネットストーカー、なりすまし、いやがらせ、空き巣 など。</p> <p><b>【言語活動】(設定の意図)</b> SNSの「影」の部分の予測でき、安全にコミュニケーションツールとして活用する意識を持つ。</p> <p>(T) 公開してよい情報とそうではない情報にわけてみよう。</p>	<p>• 登録された日の情報から人物像や、その人物に起こりえる危険を想像させる。</p> <p><b>◆思考・表現(プリント)</b></p> <p><b>B基準</b> 多面的な視点で危険を予想できているか。</p> <p><b>A基準</b> 個人情報を正しく理解し、登録された情報を組み合わせることで多くの危険を予測できているか。</p> <p>〈B基準に達していない児童への手立て〉</p> <p>• 第三者として想像するよう促す。</p> <p>• 安直に「利用しない＝安全」という結論にならないよう発問に注意する。</p> <p><b>徹底指導(ポイント)</b> いくつか組み合わせることで本人を識別できる情報＝個人情報</p>	<p>• プロジェクタでSNS画面を掲示する。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>4 本時の内容を確認する。</p>	<p>• SNSトラブルのニュースをプロジェクタで掲示し、個人情報保護の意識を持たせる。</p>	